

抗菌薬使用サーベイランス(JSAC)の集計に用いる用語集

	用語	説明	具体的な使用例	計算式
抗菌薬の定義	ATC分類 Anatomical Therapeutic Chemical	WHOの定義する医薬品分類方法。 化学的構造・作用部位・効果によって分類コード化されている。ATC分類J01が全身に用いる抗菌薬と定義される。 AMR臨床リファレンスセンターのサーベイランスではJ01に該当する薬剤を抗菌薬と定義している。	ある国のATCコードJ01に該当する抗菌薬使用量は12.5DIDである。	
抗菌薬使用量の単位	DDD (複数形: DDDs) Defined Daily Dose	WHOが定義している測定単位。臨床現場での推奨投与量ではなく、医薬品の主な適応症に対する成人の1日仮想平均維持量*1。	セファゾリンのDDDは3gである。 病院Xにおいて、患者Aにセファゾリンが1回1g、1日3回、7日間投与された場合、7 DDDsである。	$21 \text{ g} \div 3 \text{ g} = 7 \text{ DDDs}$
地域における抗菌薬使用の指標	DDDs/1,000 inhabitants/day (DID)	地域の抗菌薬使用を評価する指標として用いる。使用された量(力価)とDDDを用いて住民1,000人、1日あたりの使用状況を表す。	日本においてメロペネム (DDD=3) が5DDDs/1,000 inhabitants/dayであれば、「3gのメロペネムを投与された人が、国民1,000人あたり1日に5人いた」という意味になる。	$(\text{一定期間の使用量} \div \text{DDD (DDDs)}) \div \text{住民数 (1,000人)} \div \text{一定期間(日)}$
適正使用の指標	AWaRe(アウェア)分類*2	WHOが定めた抗菌薬の分類。本分類では国レベルで抗菌薬全体に占める Accessの割合が60%以上になることを目標に定めている。ATC分類J01抗菌薬に加えてP01AB、A07AAの一部、J04ABの一部の薬剤を含む。 ・ Access : 一般的な感染症の第一選択薬および第二選択薬 ・ Watch : 耐性化が懸念されるため限られた適応に使うべき薬 ・ Reserve : 最後の手段として保存する薬 ・ Not recommended : WHOで臨床上的の使用を推奨していない薬 ・ AWaRe分類に記載がなく、WHOのATC分類でJ01抗菌薬に含まれる薬は 未分類 としている	抗菌薬使用量のうち、Accessの薬剤のDDDsが2、対象全体のDDDsが12であった場合、抗菌薬に占めるAccessの処方割合は16.7%である。	$\text{Accessに該当する抗菌薬使用量} 2\text{DDDs} / \text{対象全体の使用量} 12\text{DDDs} \times 100 = 16.7\%$

*1 WHOが定義する体重70kgの成人が主な適応症に罹患した場合に用いると考えられる平均維持投与用量です。

そのため、実際の処方用量とは乖離することがあります。

*2 詳細はWHOの説明をご確認ください(<https://aware.essentialmeds.org/groups>)。

日本国内で該当する薬剤リストは下記をご参照ください (https://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/030/AWaRe_excel_2023_ver2.xlsx)。

またAMR臨床リファレンスセンターで運営しているJ-SIPHE/診療所版J-SIPHEではWHOのGLASSに準拠したAWaReを用いています。

GLASSに準拠したAWaRe分類では、ATC分類J04のうちリファンピシン・リファブチンは含まれていません。

本分類は使用状況を判断する一つの指標であり、実際の診療・治療においては、AWaRe分類に関わらず状況に応じた適切な判断に基づく必要があります。